

スペシャルカラーズの使い方

最もオーソドックスで簡単なスペシャルカラーズの使い方をまとめておきます。ご利用の参考にして下さい。

「入り」から「撤収」までの基本的な流れは以下のよう�습니다。(順番は各団体の使い方により前後したり、追加修正などもあるかと思います)

1. 初日の入り(ドアを開けてから)
2. 一般的な仕込みのスケジュール
3. 会場設営
 - A. 暗幕設置
 - B. 客席づくり
 - C. 舞台設営
4. 照明セッティング
5. 音響セッティング
6. グネプロ、看板出し、折込チラシ準備、開場準備、開場、本番スタート
7. 終演後 客出し、片付け(バラシ)、原状回復、精算、撤収

POINT

これを読んで効率的に進めて下さい

初日の入り+一般的な仕込みのスケジュール

1.初日の入り(ドアを開けてから)

初日、ドアを開けると当日の担当のスタッフがおります。

スタッフから「利用説明書」を受け取り、また観客にドリンクの提供がある場合は、
そのドリンクチケットの説明を受けて下さい。(提供がない場合はこれはありません)

ご注意

「利用説明書」は必ず読んで下さい。

2.一般的な仕込みのスケジュール

一般的に「会場設営」「照明セッティング」「音響セッティング」が同時平行的に行われますが、
少人数でもできるようにここでは、順番に説明していきます。

↓
また、それらが終わると本番と同じ環境で行われる「ゲネプロ」という最終リハーサルを行うことが一般的です。
主に、照明や音響などの調整や本番のテストとして行われます。
その後は、「ゲネプロ」で見つかった問題点を改善するための確認などが行われます。

↓
休憩などをとり、本番のための準備に入ります。
着替え、化粧などや、看板出し、チラシの準備などです。

↓
その後に開場して、観客の受け付け、注意事項などのアナウンスが行われ、本番となります。
本番終了後は、挨拶、客出し・客送りを経て、片付け、撤収となります。

ご注意

上記はあくまで一般的な流れです

→次へ

会場設営

2 会場設営

A. 暗幕設置

スペシャルカラーズには、黒の暗幕が3枚用意されています。舞台空間をすべてこの幕で覆うことができます。

原状の状態としてすでに3枚釣っていますので、そのままでも使えます。

移動することも可能です。天井パイプに、黒い棒を通して幕を釣ることで、自由な位置に釣ることが可能です。

幕の後ろに、通路なども作ることも可能です。

また、袖用に別に2枚の黒暗幕と黒い棒を用意していますので、袖も自由な位置に作ることができます。また、黒とは別に白い幕(遮光)を用意しており、空間全体の背景を白にすることも可能です。(白い壁も利用して)また、一切黒暗幕も白い幕も使わず、むき出しの白い壁で舞台を作ることも可能です。

黒幕、白幕、壁といろいろな雰囲気・イメージに対応できます

A. 客席づくり

(階段状に客席を作る場合)箱台を後列二段、前列一段の階段状にします。横は5列になります。その上に椅子を並べていきます。一列で10人分の椅子を置くことができます。床の方にも並べて完成です。床置の椅子の数にもよりますが、30-50人分の客席を作ることができます。左右にまだ余裕がありますので、そこに椅子を4-5脚入れて、55名程度の客席となります。

(箱台を舞台にする場合) 階段状にせず、舞台の方を高くする場合は、そのまま椅子を並べただけは完成です。

A. 舞台設営

舞台の方は、とくになにもせずそのままで使えます。箱台を利用して一段上げた舞台にすることも可能です。

照明(取扱い、操作など)

スペシャルカラーズの照明を正しく効率的に使っていただくために

ここでは以下の内容について、説明します。

1. トラブルを起こさないための取扱い方法
2. 照明ライトの設置について
3. 配線の仕方
4. 照明卓(フェーダー)の扱い方
5. ゼラの扱い方
6. 基本照明の配置など
7. 開場明かり(客席明かり)の作り方

トラブルを起こさないための取扱い方法

仕込みや本番中にライトがつかなくなったりするトラブルを起こさないための注意事項をまずは上げておきます。

ここに書かれていることは必ずお守りください。

- **一つの電源コードに、ライトを複数つなげない。二股などにしない。**
→スペシャルカラーズの場合は、ヒューズは1灯分ずつになっていますので、上記のようにすると、ヒューズが切れます。回復にはヒューズ交換が必要となり、照明はすべて使えなくなります。当日中に回復できない場合もあります。
- **調光卓(フェーダー)で本番やリハーサルでもないのに、点けたり消したりを急速に繰り返すなどしない。**
→ヒューズ切れやライトの玉切れを起こすことがあります。
- **調光卓(フェーダー)のよくわからないボタンを適当に押したりしない。**
→プログラムがかかってしまい、意図しない照明がついたり、消えたりするようになります。
その場合は、スタッフにプログラムの解除を依頼してください。

- 照明の機材は丁寧に扱う

→乱暴に扱うと内部の装置や接続部分にトラブルがおき、照明がつかなくなります。

この場合、調べるのにかなりの時間がかかり、その他の照明も利用できなくなります。

- 照明のライトとパイプにつけた場合は、落下防止用のワイヤーを必ず設置する。

→ライトが人に落ちると、大きな怪我につながります。

- 照明のライトを暗幕や燃えるものの近くに置かない。必ず、距離を離して置くようにする。

→ライトは500Wの電気ヒーターのような熱さになります。火災を起こさないように十分注意してください。もしそのような場合は、照明卓(フェーダー)で明かりを落とし、水や消化器を使って対処してください。

上記は絶対守ってください

照明ライトの設置について

- ライトはバトン(天井のパイプ)の好きな位置に取り付けることができます

ただし、暗幕の近くなどは一定の距離をあけて、熱で暗幕などが燃えないように注意します。

- 落下防止のワイヤーは必ずつけてください

- ライトの照射角度を合わせるため、ライトについているノブなどを調節して角度を決めて下さい

配線の仕方

- 天井についているディマーが入っている黒ボックスエリアから出ている電源コードの先には、ディマーのコンセント番号が書いています。そのままフェーダーの操作スイッチの番号にもなっています。ですので、コードはそのまま使い、距離が足りない場合は、延長コードでつなぎます

- ディマーのコンセントから出でているコードは、途中で二股などにしてないでください。必ず、1コードにつき1ライトのみつなげて下さい。1コードに複数のライトをつなげると、ヒューズが切れます。

- 配線して余ったコード部分は、バンセンでバトンにくくるなどすると見た目がよくなります

照明卓(フェーダー)の扱い方

- 最初のセッティングは、スペシャルカラーズのスタッフに来てもらってきてください。またその時に、操作方法を聞いて下さい。
- 照明卓についているいろいろなボタンは主にプログラム登録・操作などをするためについていますので、知識のある方のみ、扱って下さい。またプログラムを変更した場合は、必ず解除して戻して下さい。
- 照明卓を必要もなくフェーダーを高速に切り替えたり、ライトのオンオフをむやみに繰り返さないで下さい。ライトの消耗やヒューズの切れなどのトラブルを引き起こす原因になります。

ゼラの扱い方

- 無料でお貸しできるゼラ(色セロハンのようなもの)を使って、照明に色をつけることができます。(LEDライトは照明卓で色を変化できるので、ゼラは必要ありません)
- 基本的にゼラは、ゼラを入れる鉄製の枠に挟んで、照明ライトの前に入れ込んで使って下さい。
- 使い終わった枠とゼラは、もとに戻しておいて下さい。

基本照明の配置など

ここでは、基本的な照明を配置などを書きますので、各イベントにあわせて頂いてOKです。

- 舞台全体をくまなく明るくする地明り
一番舞台に対して遠方から照射すると、地明りをとりやすくなります。真正面に照射する場合や斜めに照射する場合などがあります。
- スポットライト 地明りとは逆に、舞台のほんの一部にあてる照明のことです。よく「スポットライトがあたる」という言い方をしますが、そのような意味での使い方のことです。センタースポットを作る場合は、パフォーマーの頭の上より少し前の方から照射すると、表情などがわかるように照らすことができます。
- 後は基本的に装飾的なライトになります。スタンドを使って横からライトを当てたり、床にライトをおいて「転がし」という使い方ができます。照明効果として立体的な舞台になります。その他、「逆光」というものは、パフォーマーの後ろからライトを当てます。とても印象的なライト効果になります。
- 後は、真後ろのセンターなどに壁や暗幕に照射するようにするなども、よく使われます。
- スタンドを照明卓のそばにおいて、オペレーターが照明卓とともにスタンドも操作してライトの角度を手元で変更すると、パフォーマーを追いかけた照明なども可能となります。

開場明かり(客席明かり)の作り方

- 舞台用の照明以外のライトは、入り口の横にすべてスイッチがあります。これはオンオフしかできません。蛍光灯と白熱灯に分かれています。開場前は、白熱灯などのほうが明るく作業などはしやすいかと思います。開場後は、白熱灯のみで受付をされる方が、雰囲気ができます。
- 舞台の方の客席明かりについては、舞台用のライトを使うほうが雰囲気を壊しません。舞台用のライトのうち、観客席を当てられるものを少し照らすと雰囲気ができます。また、スタンドのライトを観客席の天井に向けて照射すると、天井に明かりが反射して効果的な客席明かりができます。

原状回復について

もともとあった照明の状態に戻してください。照明のセッティングをする前に、写真などをとりライトの位置などを記録しておくとやりやすいです。最後にスペシャルカラーズのスタッフと共に、ライトをつけながら原状に戻っているか確認をしていただきます。

[戻る←](#) [→次へ](#)

音響セッティング

ミキサーからスピーカーまでは常に接続されていますので、各種の音ソースをミキサーに入れていただくだけで音がでますので、難しいことはありません。

音を出す前に

音を出す前のミキサー、スピーカーなどの電源入れはスタッフが行いますので、スタッフに申し付けて下さい。もしその場にスタッフがない場合は、次の順序で電源を入れて下さい。順序を守らないとスピーカーを壊してしまう場合があります。

1. スピーカー裏の電源を入れる スピーカー前面のランプがつきます
2. ミキサーのボリュームのマスターやサブのフェーダーを0に戻しておきます
3. ミキサーの電源を入れます
4. CDデッキやパソコンの音源を入れます
5. ミキサーのボリュームを少し上げて、スピーカーから音が出ることを確認してください。
6. 問題がなければ、OKです。
音が出ないなどありましたら、コードの接続などを確認してください。それでも音がない場合は、スタッフに連絡してください。

音ソースをつなげる

ミキサーには、音源を選択できる白いセレクトボックスをつけています。そこに必要な音源(CDデッキやパソコン)などをつなげていただき、セレクトボックスの該当の番号を押していただくと音が出ます。

ミキサーですので、音源ソースから直接ミキサーに音響コードを接続していただいても音は出ます。

電源を切るときには

音響関係の電源を切る場合は、やはりスタッフに申し付け下さい。

ご自身でやる場合は、次の順序でお願いします。

1. ミキサーのマスター・ボリュームを0にして、スピーカーから音が聞こえない状態にします。
2. スピーカーの裏の電源をオフにします
3. 音源の機材(CDやパソコン)の電源をオフにするか、コードの接続を外します
4. ミキサーの電源をオフにします

[戻る←](#) [→次へ](#)

ゲネプロ、看板出し、折込チラシ準備、開場準備、開場、本番スタート

ゲネプロ

照明や音響、舞台セットなどの準備が出来ましたら、ゲネプロ(最終リハーサル)となるのが一般的な流れです。

とくに照明や音響については、会場の設備で初めて動かすということになりますので、しっかりとゲネプロを行い、問題がないかを確認しておくことは重要です。

なにをゲネプロの目的とするかは、演出やプロデューサーの判断によります。

看板出し

スペシャルカラーズの赤い看板にチラシをはさむなどして、看板を1Fの入り口においてください。

夜間になる場合は、看板につけてあるライトをつけてください。

ライトのコンセントは、道路から見て奥の方にあるコンセントがスペシャルカラーズのコンセントです。(他のコンセントには接続しないようにしてください)

看板の置き場所ですが、道路に出ないようにしてください。また、マンションの住人の通行の妨げにならないように置いて下さい。

折込チラシ準備

折込チラシを配布する場合は、スペシャルカラーズの二つ折りのチラシを一番表面にして束ねて配布してください。

会場準備

客席などの整理整頓、受付の準備など会場のすべての状況を確認して、開場の準備をします。

開場

いわゆる「客入れ」です。受付がスムーズに行われるようにしてください。

ドリンク提供がある場合は、スペシャルカラーズのドリンク券を観客の方に一つ渡して下さい。

本番スタート

本番前の挨拶や注意アナウンス(スマホやアラームの音の注意、開演時間の長さやトイレについてなど)が終わりましたら、本番スタートです。

受付や客入れの照明を消して、スタートして下さい。

[戻る←](#) [→次へ](#)

客出し、片付け(バラシ)、原状回復、精算、撤収

終演後、挨拶などをしてからの流れを説明いたします。

客出し

お客様に御礼などの挨拶をした後に、最後のご案内などをしてください。

この時に、テーブルなどにスナックを出したりして簡単な打ち上げパーティをされる団体もあります。

お客様にはマンションの1Fなどに溜まって大きな声でおしゃべりなどをしないようにお伝え下さい。近隣の迷惑になりますので、よろしくお願ひします。

片付け(バラシ)

- スタッフに「原状復帰シート」をもらってください。原状復帰のチェックポイントが書いてあります。
- 照明や音響などを元に戻してください。また、スペシャルカラーズの機材やコード類と、持ち込んだものを確認してください。
- 暗幕類もたたんで元の袋やケースに戻してください。
- 箱台を片付け、椅子を元あった場所に戻してください。
- 床の掃除をお願いします。

まずは、ホウキや掃除機でゴミを取り、次に乾燥したクリーナーシートをかけ、最後に湿ったウェットシートをかけてください。

原状回復

「原状復帰シート」を見ながら、スペシャルカラーズのスタッフとともに原状復帰の確認をしていただきます。

スタッフの方から、原状回復への不備などの説明がありましたら、ご対応お願いいたします。

精算

入場者数(ドリンク提供数)などをスペシャルカラーズのスタッフに伝え、
レンタル料のご精算をお願いいたします。

撤収

(ゴミについて)

- ゴミは必ず利用者の自宅まで持ち帰えり、責任ある処分をするようにしてください。
- スペシャルカラーズの方でお預かりできるゴミは、燃えるゴミのみとなります。45Lのゴミ袋単位で有料500円となります。
- ゴミについては、マンションの入り口に捨てないでください。
- ペットボトルや瓶などは、回収ボックスなどに捨てるようにしてください。

(打ち上げについて)

新井薬師前 駅前や 中野 駅前にいろいろお店があります。

近くの居酒屋をご紹介しておきます。

- 一の酉 新井薬師店
スペシャルカラーズを出て右斜め前のお店です。
リーズナブルな価格で人気店です。
席の確保が必要かと思いますので、事前に予約されるとよいかと思います。
- 養老乃瀧 新井薬師店
メニュー豊富で2Fは大人数でも利用できます。
新井薬師前駅1分のところにあります。

[戻る←](#) [→「スペシャルカラーズの使い方TOP」へ](#)